

平成30年度事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

<社会福祉事業>

1	法人運営に要する経費	-----	1
2	地域福祉に要する経費	-----	4
3	生活福祉資金貸付事業に要する経費	-----	9
4	相談支援事業に要する経費	-----	10
5	法人後見事業に要する経費	-----	12
6	地域活動支援センターに要する経費	-----	14
7	志木市児童センターに要する経費	-----	16
8	宗岡子育て支援センターに要する経費	-----	18
9	学童保育クラブに要する経費	-----	20
10	居宅介護支援事業に要する経費	-----	24
11	訪問介護事業に要する経費	-----	26
12	志木市福祉センターに要する経費	-----	28
13	志木市第二福祉センターに要する経費	-----	30

<多機能型事業>

14	多機能型事業所（生活介護）に要する経費	-----	32
15	多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費	-----	34

<公益事業>

16	地域包括支援センターに要する経費	-----	36
17	志木市総合福祉センターに要する経費	-----	40
18	宗岡第二公民館に要する経費	-----	42

サービス区分	1 法人運営に要する経費
--------	--------------

【事業の概要】

社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各課間との連携を図る事業を推進した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	66,181,509	職員人件費
事業費支出	4,453,967	広報事業、表彰事業他
事務費支出	6,716,146	事務管理費
助成金支出	552,200	会費事務費
事業活動支出計	77,903,822	
基金積立資産支出	174,176,410	横山武治高齢者福祉基金 (134,500,000 円) 災害ボランティア基金 (39,676,410 円)
積立資産支出	39,811,463	運営調整基金 (30,000,000 円) 運営調整基金利息 (76,570 円) 指定管理積立金 (9,734,893 円)
繰入金支出	2,254,196	地域福祉 (1,275,992 円) 相談支援 (339,226 円) 地域活動支援センター (638,978 円)
支出合計	294,145,891	

1 重点施策への取り組み

社会福祉法人制度改革において求められている経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、信頼され、安定した法人運営ができるよう、理事会、評議員会などの組織運営体制を整備した。

法人化40周年記念事業として長年にわたり本会を支えていただいた方々の表彰と記念講演を実施した。

本会事業を幅広く、効果的に周知するためにホームページをリニューアルし、またSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を導入した。

2 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

経営委員会、理事会、評議員会、監事会を開催して経営に関する協議を進めるなど、法人として継続的な運営をするための協議・体制整備を行った。

① 会議など

ア. 理事会 4回

回数	実施日	出席者／定数 上段 理事 下段 監事	議案番号	主な内容
第1回	6月6日	8／11人 2／2人	第12号 平成29年度決算及び事業報告書の承認 第13号 平成30年度第1回補正予算について 第14号 定時評議員会の招集について	
第2回	7月2日	12／13人 1／2人	第15号 副会長の選定について	
第3回 (合同 会議)	12月13日	12／13人 1／2人	【内容】 ① 遺贈寄附について ② 法人化40周年記念式典について	
第4回	3月12日	12／13人 1／2人	第1号 基金の設置及び管理運用に関する規程の一部を 改正する規程について 第2号 平成30年度第2回補正予算について 第3号 平成31年度予算及び事業計画について 第4号 第3回評議員会の招集について	

イ. 評議員会 3回

回数	実施日	出席者／定数	議案番号	主な内容
第1回	6月27日	14／18人	第4号 理事の選任について 第5号 理事の選任について 第6号 平成29年度決算及び事業報告書の承認 第7号 平成30年度第1回補正予算について	
第2回 (合同 会議)	12月13日	9／18人	【内容】 ① 遺贈寄附について ② 法人化40周年記念式典について	
第3回	3月27日	12／17人	第1号 平成30年度第2回補正予算について 2 平成31年度予算及び事業計画について	

ウ. 監事会 1回

② 団体との渉外活動

ア. 総会 9回

イ. 新年会 7回

ウ. 寄附 7回

エ. 行事 7回

オ. 後援活動 4件

③ 寄附金の受け入れ 37件 135,397,764円

(2) 事務局活動

常勤職員7人分の人件費及び事務所の維持管理費など、必要な費用を支出した。

① 法人及び事務局運営のための研修への参加 2件 2人参加

② 市・団体関係会議への参加 16件 16人参加

(3) 実習生・職場体験の受け入れ

① 相談援助実習（社会福祉士） 5大学 計6人 延べ133日間

② 中学生職場体験 1中学校 計2人 延べ3日間

(4) 組織強化活動

法人組織を強化するため、会員の募集や職員研修を行った。
法人化40周年記念事業として、表彰式典及び記念講演を行った。

① 会員募集及び募金募集

- ア. 地区委員会 2回
- イ. 会員募集説明会 3回
- ウ. 特別会員等加入実績 1,028,500円
- エ. 町内会会員加入実績 5,986,200円
- オ. 赤い羽根募金実績 4,277,641円
- カ. 歳末たすけあい募金実績 2,296,103円

② 法人化40周年記念事業

- ア. 表彰式典 32人 117団体
- イ. 記念講演 「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」 増岡弘 氏
- ウ. 法人化40周年記念誌の発行 450冊

③ 県社会福祉大会

- ア. 知事表彰 2人
- イ. 大会会長表彰 2人
- ウ. 共同募金会長表彰 2人

④ 職員研修

- 新任研修 2回 15人出席

(5) 広報活動

社協だよりの発行やホームページの運営など、社協及び地域福祉活動の情報発信を行った。

① 社協だよりの発行

- ア. 広報編集委員会 12回
- イ. 定期発行 年6回 各26,000部（全戸配布）

② ホームページ・SNSの運営（3月31日現在）

2月1日からホームページを全面リニューアルし、高齢者や障がい者等誰もが利用しやすいホームページにしたほか、SNS（ツイッター、フェイスブック）を導入した。

(6) 福祉サービス適正運営

第三者委員を配置し、苦情解決及び事故防止に努めた。

- ① 第三者委員会 1回 3人出席
- ② 苦情受付件数 15件（第三者委員による対応なし）
- ③ 事故発生件数 25件

サービス区分	2 地域福祉に要する経費
--------	--------------

【事業の概要】

地域福祉活動として、小地域の福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、ボランティア・市民活動支援センターとして、地域住民の福祉への理解を図るとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティアの育成、支援を行った。さらに、本会独自の在宅福祉事業として、住民相互の支え合いにより家事援助を行うたんぽぽ生活応援隊や福祉機材貸出事業を実施したほか、共同募金配分事業を展開した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	7,734,982	
事業費支出	6,464,866	地域福祉・ボランティア・在宅福祉事業
事務費支出	3,557,499	事務管理費
助成金支出	5,745,239	助成事業・共募配分事業
事業活動支出計	23,502,586	

1 重点施策への取り組み

生活支援サービス体制整備のため、市や高齢者あんしん相談センターなどと連携し、市全域における第1層協議体を開催したほか、より多くの協力者を確保していくためにたんぽぽ生活応援隊の見直しを行った。また、地域で支える福祉社会の形成に向けて、高齢者・障がい者理解を促す福祉教育として、車椅子講習会や視覚障がい者によるメッセージライブ、聞こえない人の気持ちを考える講座などを実施した。

2 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

生活支援体制整備業務を受託し、志木市における総合支援事業の構築に向けた協議や支え合いを推進する講演会の開催、各圏域の活動支援を行った。

また、小地域活動を推進するため、サロン活動の会場費や保険料などの支援を行ったほか、多世代交流型こどもランチルームの開催やこども食堂の立ち上げ支援として、サロンスタッフの養成や活動相談などを行った。

① 生活支援体制整備業務（市からの委託事業）

- ア. 第1層協議体の実施 8回
- イ. 第2層協議体支援 22回
- ウ. 講演会等実施・支援 4回（市全域、柏町、館・幸町、宗岡南北）
- エ. サロン設立準備相談 6か所
- オ. 生活支援体制整備関連研修会への参加 4回

② 小地域サロン活動の支援

- ア. 活動相談 36か所

イ. 運営支援 27か所

ウ. サロンスタッフ養成

こども食堂ボランティア打合せ会・ボランティア体験会 10人参加

エ. こどもランチルームの開催

7月23日～8月28日までの平日（26日間） 延べ232人参加

③ ふれあい健康交流会（市受託事業）

ア. 定例実施分 30回 466人参加

イ. ボランティア協力 5団体 30回 延べ230人参加

ウ. 料理ボランティア研修会（食の衛生講座） 7団体 34人参加

④ 家族介護者交流事業（市受託事業）

実施日	主な内容	会場	参加者
7月1日	野球観戦に行こう！	西武ドーム	介護者 9人 協力者 4人
11月22日	介護落語「かあちゃんが倒れた！」 介護講演会「家族に介護が必要にな ったら」	総合福祉センター	介護者 21人 一般 12人 協力者 10人
2月28日	介護者日帰りバス旅行 「いちご狩りを楽しもう！」	吉見町（今西いちご 園他）	介護者 14人 協力者 2人

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア活動を行う人・団体の活動支援を行うほか、さまざまな障がい者を支援するボランティア養成講座、障がい理解講座などの開催とボランティア関連の保険窓口業務及びボランティア活動保険の補助を行った。

また、次代を担う子ども達に福祉や障がい、ボランティアに対する理解の促進を図るため、小中学校を中心として福祉体験学習を推進するとともに、研修会や協力者の連絡会を行った。

① ボランティアに関する相談・調整・情報提供 70件

② ボランティア活動団体助成申請支援

助成情報案内	6事業	延べ121団体
申請支援	6事業	16団体
助成決定数	4事業	9団体

③ ボランティア関連保険

ア. 窓口受付

ボランティア活動保険	1,906人
ボランティア行事用保険	334件
福祉サービス総合補償	2件
送迎サービス補償	2件
事故対応	5件

イ. ボランティア活動保険助成 1,144人 228,800円

- ④ 夏のボランティア体験プログラムー福祉学園ー
- ア. 事前オリエンテーション 84人参加
 - イ. ボランティア体験 42コース 延べ106人参加
 - ウ. ふりかえりの会 29人参加
- ⑤ ボランティア育成
- ア. はじめてのボランティア講座 42人参加
 - イ. 手話奉仕員養成講習会入門課程（市受託事業） 16人参加
 - ウ. 手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業） 30人参加
 - エ. 朗読講習会 13人参加
 - オ. 点字講習会 6人参加
 - カ. 傾聴ボランティア養成講座 9人参加
- ⑥ 学校における福祉教育
- ア. 福祉体験実績
 - 小学校 8校 62件
 - 中学校 3校 15件
 - イ. 福祉教育を目的とした福祉機材の貸出 6種類 延べ47件
 - ウ. 朝霞地区四市福祉教育研修会（2日間） 延べ161人参加
 - エ. 福祉教育ボランティア連絡会 15人
- ⑦ 地域福祉教育
- ア. 聞こえない人の気持ちを考える講座 27人参加
 - イ. 視覚障がい者によるメッセージライブ 82人参加
 - ウ. 福祉映画「みんなの学校」上映会 79人参加
 - エ. 車椅子講習会 2回 121人参加
 - オ. 総合福祉センターまつりボッチャ体験コーナー 35人参加
- ⑧ 災害ボランティアセンター
- ア. 図上訓練 4人参加
 - イ. 防災倉庫整備（電気設備工事・備品購入）
- ⑨ 地区民生委員・児童委員協議会への参加（3地区） 27回

(3) 在宅福祉事業

高齢者や障がいのある人などが地域生活を送るための在宅福祉サービス事業を行った。また、介護保険や日常生活用具などの福祉制度を利用できない市民（会員）に対し、車椅子など在宅で生活する上で必要となる福祉機材について貸出事業を実施した。

① たんぽぽ生活応援隊

協力員の確保を目的に、10月に要綱を改正した。

名称を「たんぽぽ生活応援隊」に改め、キャリア部門・土日祝日の活動を終了した。

また、協力員の活動費を利用料と同額とし、担い手が活動しやすい体制を整えた。

ア. 年間活動時間 2, 255時間30分

イ. 年間活動回数 1, 745回

ウ. 内容別活動時間

活動内容	合計(時間)
買い物代行	1 5 6 時間
外出（散歩、通院、買い物等）の支援	1 8 3 時間 3 0 分
部屋の掃除、家具の移動、電球取替等家の補修など	1, 1 7 9 時間
ゴミの梱包、ゴミ捨て	9 時間 3 0 分
庭の手入れ（草むしり、庭木剪定など）、雪かきなど	1 2 8 時間
話し相手、見守り	2 4 7 時間
その他（PC 指導、料理、保育、その他）	3 5 2 時間 3 0 分
合 計	2, 2 5 5 時間 3 0 分

エ. 登録者数 利用者 1 1 7 人 協力員 3 0 人

オ. 会議・説明会

協力員会議 1 6 人出席

協力員登録説明会 2 回 2 人出席

② 福祉機材（車椅子、ポータブルトイレなど）の貸出 延べ 8 3 件

③ 車椅子専用車の貸出及び福祉有償運送事業

ア. 車椅子専用車貸出 2 3 2 件

車両別実績	いろは号	友愛号	夢ふれあい号
	1 0 0 件	9 4 件	3 8 件

イ. 福祉有償運送 延べ 4 6 件

運転ボランティア 1 1 人

(4) 共同募金配分事業

共同募金配分金（地域歳末たすけあい募金配分金）及び社協会費、寄附金を活用し、地域福祉及び在宅福祉を推進するための本会独自事業を実施した。

今年度から新たに地区敬老会合同開催支援を設置したほか、世代間交流支援を 1 地区 2 件申請できるよう拡大した。

① 地域福祉活動助成事業

ア. 事業分類別

助成事業名		件数	助成額
地域のつながりづくり支援			
	地区敬老会支援	2 0 地区	592, 900 円
	世代間交流支援	3 1 地区 3 8 件	1, 095, 300 円
	福祉施設訪問支援	1 団体 1 事業	5, 000 円
	在宅高齢者訪問支援	4 団体 1 1 事業	123, 300 円
	地区敬老会合同開催支援	5 地区 1 事業	79, 600 円
地域活動支援		3 8 地区	1, 721, 000 円
生活を支える活動支援			
	生活サポート活動支援	1 6 団体	430, 000 円
	社会参加支援	1 1 団体 2 3 事業	462, 200 円

	障がい者交流支援	1 団体 1 事業	11,900 円
	戦没者遺族会活動支援	1 団体	150,000 円
	ボランティア活動保険補助	1, 144 人	228,800 円
合 計			4,900,000 円

イ. 対象者別

対象者	助成額	割合
地域関係団体	3,617,100 円	73.8%
福祉関係団体	730,200 円	14.9%
ボランティア活動	552,700 円	11.3%
合 計	4,900,000 円	100.0%

⑤ 介護用品購入支援事業

食事用エプロン 2 枚組	5 2 組
すべり止めマット	3 5 枚
防水シート	1 4 3 枚
ポータブルトイレ防臭剤	3 1 個
プラスチック手袋 3 0 0 枚	1 9 0 組
手指消毒液	7 9 個
利用者	3 0 7 人

⑥ 地域でつながる子育て応援事業

ア. カプルリュック・子育て応援本の配布

いろは子育て支援センター「にこまある」	9 2 件
西原子育て支援センター「まんまある」	1 0 1 件
宗岡子育て支援センター「ぼけっと」	6 5 件
どろんこ子育て支援センター「ちきんえっぐ」	2 0 件
子育て支援センター「ぶちまある」	2 9 件
利用世帯	3 0 7 件

イ. 子育て支援映画会 16 人参加

サービス区分	3 生活福祉資金貸付事業に要する経費
--------	--------------------

【事業の概要】

低所得者、障がい者、高齢者、離職者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を援助するため、実施主体である埼玉県社会福祉協議会と連携を図りながら、資金貸付の窓口として、必要な援助・指導及び事務を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	1,372,000	職員人件費
事務費支出	165,000	事務管理費
事業活動支出計	1,537,000	

1 重点施策への取り組み

実施主体の埼玉県社会福祉協議会をはじめ、行政、ジョブスポットしき就労支援センター、市生活相談センターとの連携を図り、生活困窮世帯などに対する支援について、迅速かつ適切な対応に努めた。

2 主要な施策の成果

(1) 貸付相談

低所得者、障がい者、高齢者、離職者などの生活に困った世帯に対し、相談援助を行うとともに、必要に応じ生活福祉資金貸付制度により資金の貸し付けを行い、その世帯の経済的自立や社会参加を促した。

相談件数
28件

(2) 利用件数

貸付者に対し、生活安定のための相談援助を行うとともに、滞納者に対する債務相談を行うことにより、経済的自立や社会参加を促した。

新規利用	償還完了	償還免除	償還・据置中
1件	3件	0件	120件

(3) 会議・研修

外部研修 1回 1人参加

サービス区分	4 相談支援事業に要する経費
--------	----------------

【事業の概要】

福祉総合相談を基本に、相談者の課題解決に向けての福祉サービスや社会資源などの情報提供や調整などに取り組んだ。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	15,592,364	職員人件費
事務費支出	2,645,235	事務管理費
事業活動支出計	18,237,599	

1 重点施策への取り組み

生計不安や複雑な家庭問題を抱える世帯（高齢者、障がい者、養育困難など）の支援のため、民生委員・児童委員、高齢者あんしん相談センターなどと連携しながら、孤立する住民へのアプローチを積極的に行った。また、自立支援協議会暮らし部会や相談支援事業所連絡会に参加し、志木市の障がい福祉サービスの現状を把握しつつ、困難事例を担当する相談支援専門員へのサポートとして、助言や同行、研修会などを行い、専門員のスキルアップを図った。

2 主要な施策の成果

(1) 相談支援事業

地域住民が抱える課題に対応するため、分野を越えて総合的な相談体制を整備するとともに、関係機関との連携を図り、各々の福祉ニーズに即した支援を行った。また、福祉サービスや社会資源の利用に繋がっていない市民のもとへ積極的に向かい出したほか、専門機関の紹介や関係機関との連絡調整などを行った。その他、志木市から指定を受け、障がい者や障がい児が在宅生活に必要な障がい福祉サービスを適切に受けられるよう、サービス等利用計画を作成した。

① 福祉総合相談件数 44件

電話	来所	訪問	同行	関係調整	その他
15件	4件	9件	0件	16件	0件

② 障がい者等相談支援事業所 1,696件

ア. 相談件数

電話	来所	訪問	同行	関係機関	個別会議	メール他
658件	74件	129件	38件	678件	86件	33件

イ. 障がい別相談件数（複数相談あり）

身体	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
203件	463件	1,061件	90件	30件	25件	2件

③ 計画相談支援 116件

ア. 契約件数

新規契約	契約終了	延べ契約
5件	8件	116件

イ. 障がい別契約件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
17件	61件	17件	21件

④ 認定調査 年12回 74件

(2) 連携強化学業（相談支援従事者等スキルアップ研修）

相談対応から出てきた課題を解決するために、研修会を実施し、地域で支援を行っている相談員・支援者と課題を共有し、対応する方法を学んだ。

実施日	会場	テーマ	参加者
3月21日	地域活動支援センター	「障がい者虐待の志木市の現状や事例、取り組みについて」	23人

(3) 会議・研修

- ① 会議・研修 13件 17人参加
- ② 地区民生委員・児童委員協議会への参加 11回
- ③ 自立支援協議会など 15回

サービス区分	5 法人後見事業に要する経費
--------	----------------

【事業の概要】

障がいや疾病などにより判断能力が低下し、一人で生活していくのに不安がある人を対象に、生活支援員が定期的に訪問し、日常的な金銭管理や書類の整理、届出などを支援した。また、日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが安心して生活できるよう、法人として成年後見人を受任し、財産管理や身上保護を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	7,887,516	職員人件費
事業費支出	518,102	諸謝金、通信運搬費等
事務費支出	3,252,979	事務管理費
支出合計	11,658,597	

1 重点施策への取り組み

権利擁護を推進する社会福祉協議会の立場から、住民が抱えている諸問題に対して、行政、高齢者あんしん相談センター、地域活動支援センター、相談支援事業所、居宅介護支援事業所などと連携を取りながら取り組んだ。

また、さまざまな背景をもった利用者や相談者に対して、より専門的な対応をするために、権利擁護支援員や市民後見人を対象に研修会や事例検討会を開催し、スキルアップを目指した。

さらに、平成30年4月に市が開所した後見ネットワークセンターへの業務引継ぎを行い、積極的なセンター利用を市民に周知したほか、同センターが開催する候補者調整会議及び企画運営会議に委員として参加し、権利擁護の拡充や利用促進に努めた。

2 主要な施策の成果

(1) 日常生活自立支援事業

① 実施体制

専門員2人（常勤兼務）、生活支援員10人

② 相談

相談日・時間	相談員	件数
月～金曜日 8時30分～17時15分	常勤職員	364件

③ 利用状況

ア. 契約件数 7件

新規契約	契約終了	延べ契約
2件	2件	7件

イ. 分野別契約件数

高齢者	知的障がい	精神障がい	その他
2件	1件	4件	0件

④ 普及・啓発

関係機関の会議などで制度の説明する機会を設け、啓発活動を行った。また、あんしんサポートねっとや成年後見制度の利用が必要なケースが増え、どちらを利用すべきか支援者が判断に迷うことが増えていることから、担当者会議などに積極的に参加し、適切な制度利用のための説明や利用の見極め、助言を行った。

(2) 法人後見事業

① 権利擁護推進事業運営委員会 2回 延べ15人出席

② 利用状況

ア. 保佐人 2件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
0件	0件	2件	70代男性、70代女性

イ. 後見人 11件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
2件	1件	11件	90代女性1人、80代女性2人、70代女性1人、70代男性1人、60代女性1人、50代男性1人、50代女性1人、40代男性1人、40代女性1人、20代男性1人

ウ. 後見監督人 5件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
0件	0件	5件	市民後見人5人を監督

③ 相談・対応件数 964件

身上保護・財産管理	731件
職員訪問	85件
権利擁護支援員訪問	148件

(3) 会議・研修

① 権利擁護支援員会議 2回 17人出席

② 生活支援員研修 1回 7人参加

③ 専門員会議・研修 2回 2人参加

④ 後見ネットワークセンター候補者調整会議・企画運営会議 12回 12人参加

⑤ その他会議・研修 9件 9人参加

⑥ 後見ネットワークセンター記念講演会・シンポジウム シンポジストとして参加

(4) 事業説明

① 視察（取材）対応など 4件

② 日常生活自立支援事業実地調査

サービス区分	6 地域活動支援センターに要する経費
--------	--------------------

【事業の概要】

障がい者の意思と人格を尊重し、利用者の立場や視点に立った障がい福祉サービスを提供するため、障がい者の声をもとにした創造的活動または生産活動の機会の提供及び社会との交流を図る事業を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	5,215,074	職員人件費
事業費支出	6,118,397	機能回復訓練、教室事業
事務費支出	1,597,977	事務管理費
事業活動支出計	12,931,448	

1 重点施策への取り組み

総合福祉センター改修工事の終了後、5月から定期事業を再開した。体操教室を定期的
に実施することにより、視覚障がい者の参加が増加し新規利用者の拡大となった。「おと
この木あそび」は、12月以降、総合福祉センターまつりの展示、販売作品制作のため、
月1回から月2回に活動日を増やして実施した。青年学級は、今年度も参加者が増加した
が、それに伴い、ボランティアや職員の参加も増え、より安全性に配慮することができた。

また、総合福祉センターの避難訓練に利用者とともに参加して避難経路を確認した。参
加しなかった事業の参加者にも、避難経路を説明し、情報を共有した。

2 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

市内障がい者団体及び障がいに関わるボランティア活動団体、行政機関などから、障
がい者が社会参加をするために配慮すべきことなどの意見を聞き、新年度からの事業運
営に反映させた。

① 地域活動支援センター運営委員会 1回 11人出席

② 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供
8団体 112回 延べ1,499人

(2) 自主事業及び受託事業の実施

① 教室事業（創作的活動）

教室名	回数	参加者数
陶芸教室	11回	64人
生け花教室	11回	49人
パステルアート教室	12回	89人
料理教室	12回	133人

詩吟	11回	31人
おとこの木あそび	16回	102人
写真教室	6回	53人
体操教室	11回	94人
8教室	90回	615人

② 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

12回 延べ96人

③ 青年学級（社会適応訓練）

6回 延べ140人

④ 機能回復訓練事業

96回 延べ501人

	実施回数	参加者数
月曜日	48回	268人
金曜日	48回	233人
週2回	96回	501人

サービス区分	7 志木市児童センターに要する経費
--------	-------------------

【事業の概要】

児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法に基づく目的を達成するため、各種事業を実施するとともに、施設の維持管理に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を行った。(指定管理者)

【支出決算額】

勘定科目	決算額(円)	説明
人件費支出	18,808,656	職員人件費
事業費支出	301,222	自主事業
事務費支出	4,466,172	事務管理費
支出合計	23,576,050	

1 重点施策への取り組み

平成30年5月に総合福祉センター内にリニューアルオープンし、館内他事業所との連携・協力のもと、「えいが会」などのさまざまな事業を実施するとともに、カパルと市長の協力を得て、80人の親子とカパル体操を踊る事業を実施するなどの「総合福祉センターまつり」や「すまいるバザー」など地域に根差した事業を通じて地域の活性化を図った。また、こども未来課主催の「こどもまつり」を実施し、地域の児童を見守る拠点としてのセンターの役割を周知・PRした。

プレイルーム・なかよしえほんルーム・テラスの特性を活かした遊びを提供し、日々展開していく中で、安全な運動遊具の使い方を指導するとともに、安心・安全な施設運営を心掛けた。また、日曜日に宗岡子育て支援センターの一部を幼児ルームとして開放し、小学生以上と乳幼児親子の住み分けを図り、児童健全育成の場の提供と子育て親子が交流できる場の提供に努めた。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数335日

市内利用者	市外利用者	団体利用者	合計
27,981人	2,626人	1,638人	32,245人

(2) 事業実施状況

事業参加者
21,283人

① 未就学児主対象事業

主な内容	事業数	参加人数
なかよしランド、みんなであそぼ、児セビクスなど	7	4,949人

② 小学生以上主対象事業

主な内容	事業数	参加人数
めざせクイズ王、コマ・けん玉検定、わくわくタイムなど	20	15,021人

③ 一般主対象事業

主な内容	事業数	参加人数
ミニサマーコンサート、こどもまつりなど	7	1,313人

(3) 運営委員

児童センター運営委員会 1回 9人出席

(4) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に生かした。

回答者数122人

(5) 緊急時対策

- ① 職員訓練（地震や火災を想定した災害時の保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練）

毎月1回 12回実施

- ② ミニミニ避難訓練（利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定）

4回実施 延べ103人

(6) 職員研修

- ① 外部研修（発達支援サポート研修ほか） 8件 延べ9人参加

- ② 内部研修（救急救命研修ほか） 4件 延べ15人出席

サービス区分	8 宗岡子育て支援センターに要する経費
--------	---------------------

【事業の概要】

子育て家庭の保護者、乳幼児などに対する支援を行うため、子育て親子の交流の場や子育て情報の提供などの事業及び子育てに関する相談・援助を実施し、児童福祉法に基づく子育て支援の拠点として、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。

(指定管理者)

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	9,342,541	職員人件費
事業費支出	231,263	自主事業
事務費支出	3,062,996	事務管理費
支出合計	12,636,800	

1 重点施策への取り組み

子育て親子の交流が積極的に図ることができるよう「あそびの広場」を充実させ、交流の機会を提供し、促進させた。また、平成30年5月に総合福祉センター内にリニューアルオープンし、施設の特性を活かした居場所の提供や利用者ニーズに基づいた事業を展開することで、利用の増加に繋がった。

こども未来課主催の「こどもまつり」を実施し、乳幼児だけではなく児童の健全育成の場と機会の提供を行った。さらに、館内他事業所との連携・協力のもと、カパルと市長の協力を得て、80人の親子とカパル体操を踊る事業を実施するなどの「総合福祉センターまつり」や「すまいるバザー」などに参加し、宗岡子育て支援センターの周知やPRに努め、利用者の確保を図った。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数335日

あそびの広場		子育て支援事業・ 相談事業など	合 計
子ども	保護者		
9,726人	8,039人	12,573人	30,338人

(2) 事業実施状況

① あそびの広場

主な内容	回数	人数
自由遊びや交流の場の提供	333回	17,765人

② 広場事業

主な内容	事業数	人数
身体測定、対象別ひろば、誕生日手形など	10事業	4,146人

③ 子育て事業

主な内容	事業数	人数
児セビクス、親子講座、子育てサークル支援など	16事業	7,198人

④ 相談事業

職員が子育てなどに関する相談を、来所・電話にて随時対応した。

また、市内の関係機関と共催し、医療職などの専門職に相談できる場を提供した。

ア. 専門相談 33回 172件

事業名	回数	相談件数	事業名	回数	相談件数
健康相談	6回	41件	保健相談	4回	35件
まんま相談	10回	46件	栄養相談	2回	12件
おっばい相談	5回	20件	巡回発達相談	4回	5件
歯の健康相談	2回	13件			

イ. 子育て相談 247件

(単位：件)

	睡眠	食事	排泄	発育	発達障がい	育児一般	ストレス虐待	保健	家庭地域	合計
児童	8	30	20	7	19	125	2	3	22	236
大人	0	0	0	0	0	2	2	1	6	11

⑤ リフレッシュ・季節・ボランティア・社協共催事業 9事業 延べ1,006人

⑥ 見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 223人

(3) 緊急時対策

① 職員訓練（地震や火災を想定した災害時の保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練）

毎月1回 12回実施

② ミニミニ避難訓練（利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定）

4回実施 延べ103人

(4) 職員研修

① 外部研修（発達支援サポーター研修ほか） 8件 延べ9人参加

② 内部研修（救急救命研修ほか） 2件 延べ8人出席

サービス区分	9 学童保育クラブ・放課後子ども教室に要する経費
--------	--------------------------

【事業の概要】

宗岡地区3学童保育クラブを受託し、児童の健全育成に必要な活動を行った。

また、宗岡第四小学校の全児童を対象とする「放課後子ども教室」と「学童保育クラブ」を一体的に運営する「放課後志木っ子タイム宗岡第四小学校」において、遊び・学習・体験・交流などの多様な活動を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額(円)	説明
人件費支出	92,904,682	職員人件費
事業費支出	12,649,498	自主事業
事務費支出	8,793,660	事務管理費
事業活動支出計	114,347,840	

【宗岡地区3学童保育クラブ】

1 重点施策への取り組み

児童が安心して過ごせる生活の場所を保障するための育成支援や異年齢児の発達理解、職員配置など体制・組織づくりに取り組み、特に「ヒヤリハット事例」を有効活用し事故防止に努めた。そして、放課後支援員の手引きとなるマニュアルの見直しを行い、効率よく業務を進め、職員の質の向上を目指した。

また、平成31年4月からスタートする「放課後志木っ子タイム宗岡第二小学校・宗岡第三小学校」の試行期間としての事業を実施した。

2 主要な施策の成果

(1) 開所日数（4学童共通）

平日244日、土曜日47日	合計291日
---------------	--------

(2) 児童利用状況

学童名	平均在籍数	平均利用児童数	
		平日	土曜日
宗岡学童保育クラブ	75.0人	51.2人	8.8人
宗岡第二学童保育クラブ	65.9人	41.7人	10.2人
宗岡第三学童保育クラブ	53.3人	37.3人	4.0人

(3) 自主事業など

① 自主事業

事業名	主な内容	参加人数
懇談会	夏休み説明会と保護者懇談会	49家庭
個人面談	全保護者との面談	146家庭63人

② 社協関連

事業名	主な内容	参加人数
宗岡第二公民館事業	読み聞かせ訪問	1回144人
	移動図書室	1回206人
ボランティア体験	福祉学園のボランティア受け入れ	各2日4人
こどもまつり	こども未来課共催事業	225人

③ 地域交流

事業名	主な内容	参加人数
放課後子ども教室との交流	宗岡りんくすと宗岡学童保育クラブ児童との交流	8回347人
ディサービス『遊・志木上宗岡』との交流	敬老の日プレゼント訪問 (宗岡第二学童保育クラブ)	1回30人
さくらフェスタ	学童児童による舞台発表	1回22人

(4) 緊急時対策

通学路や近隣において不審者情報を確認し、その情報を学校と共有し、見守りなどの対応を行い、児童の安全確保に努めた。また、児童には危険から身を守るための防犯訓練を実施し、防犯知識を身につけていくことを指導した。

① 学童保育クラブごとの基本訓練

種類	主な内容	回数	参加人数
防災・防犯	緊急時対応に関する講話・集合訓練	各1回	212人
防災	災害用伝言ダイヤル体験利用（保護者）	各1回	全家庭に周知
防災	地震想定訓練（講話、防災頭巾の装着）	各2回	295人
防災	不審者を想定した訓練	各1回	188人
防災	水害を想定した訓練	各1回	133人
防災	火災を想定した訓練	各1回	215人

② その他、緊急時対策

救急救命講習（「アナフィラキシー症状の理解」含む） 23人参加

(5) 職員研修

- ① 認定資格研修 7人参加
- ② 外部研修 9件 39人参加
- ③ 内部研修 3件 46人出席（新人研修・課内研修2回）
- ④ 学童保育アドバイザーによる勉強会 8件 202人参加
- ⑤ 宗岡地区小学校福祉体験授業参加
 - ア. アイマスク体験 3校 10人参加
 - イ. 車いす体験 4校 14人参加

(6) 放課後志木っ子タイム宗岡第二小学校・宗岡第三小学校

平成31年4月からの移行に先立ち、試行期間として事業を実施した。

- ① 事業期間 3月1日～3月31日

② 放課後志木っ子タイム宗岡第二小学校（プレ）

実施日	内容	参加人数		
		志木っ子	学童	計
3月6日	学童で遊ぼう	47人	41人	88人
3月14日	体験してみよう昔あそび	42人	38人	80人
3月28日	あそびンピック&スライム作り	48人	34人	82人

③ 放課後志木っ子タイム宗岡第三小学校（プレ）

実施日	内容	参加人数		
		志木っ子	学童	計
3月1日	学童で遊ぼう	25人	34人	59人
3月14日	プログラム体験（空手）	39人	32人	71人
3月28日	軽スポーツ&プラバン制作	50人	30人	80人

【放課後志木っ子タイム宗岡第四小学校】

1 重点施策への取り組み

平成30年4月から、志木市が取り組む放課後子ども総合プラン、放課後子ども教室と学童保育クラブを一体型とした「放課後志木っ子タイム宗岡第四小学校」の受託運営を実施した。従来の学童保育に加え、放課後子ども教室を学校施設の活用と地域住民の参画を得て展開した。市民力を最大限に活かした施策により児童が地域社会の一員として自覚し、意識を向上させる機会を得ることができた。また、学童保育入所要件を満たしていないが就労・育児・介護などを行っている家庭の受け皿となり、放課後の安心・安全な居場所としての機能を確保した。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況

① 放課後子ども教室利用

開所日数203日 9,937人利用

② 学童保育利用

開所日数291日 9,273人利用

(2) 放課後子ども教室実施状況

① 体験プログラム（定期開催）

種別	プログラム名	前期（5～10月）		後期（11～3月）		年間参加平均人数
		回数	参加人数	回数	参加人数	
遊び	宗岡りんくす	17回	1,059人	17回	753人	53.3人
	児童センター	12回	147人	—	—	12.3人
	宗岡第二公民館（読み聞かせ）	11回	49人	—	—	4.5人
スポーツ	空手	17回	240人	12回	209人	15.5人
	サッカー	8回	82人	5回	95人	13.6人

	スポーツ鬼ごっこ	—	—	3回	39人	13人
学 習	英語	14回	123人	11回	83人	8.2人
	硬筆	9回	122人	8回	58人	10.6人
	ハンドメイド	15回	262人	14回	187人	15.5人
	囲碁	8回	76人	9回	39人	6.8人
伝 統 文 化	舞踊	14回	131人	16回	162人	9.8人
	フラダンス	11回	120人	9回	67人	9.4人

より多くの児童が体験プログラムに参加できるよう、2期に分けて募集、実施した。

② スペシャルプログラム（外部講師による講座、不定期開催）

主な内容	事業数	参加人数
スポーツ鬼ごっこ、リズムタイム、科学教室など	14	339人

③ 地域交流活動（登録児童の参加）

主な内容	事業数	参加人数
市民文化祭、総合福祉センターまつりなど	14	339人

④ 学童保育在籍児童によるイベント参加

主な内容	事業数	参加人数
さくらフェスタ、認知症を知る講座、声かけ訓練など	7	153人

⑤ 宗岡第四小学校全児童対象事業

「通信」を月1回以上発行し、2月から本会ホームページ上でも閲覧できるようにした。

(3) 運営委員会

放課後志木っ子タイム宗岡第四小学校運営委員会 2回 10人出席

(4) 利用者アンケート調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に生かした。

実施月	児童	保護者
9月	91人	68人
3月	231人	231人

サービス区分	10 居宅介護支援事業に要する経費
--------	-------------------

【事業の概要】

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、要支援または要介護の認定を受けた人のケアプランを作成し、要介護者の自立支援を行った。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	24,183,903	職員人件費
事務費支出	7,407,519	事務管理費
支出合計	31,591,422	

1 重点施策への取り組み

事業所内のチームケアを徹底し、申し送りや事例検討会を通して利用者情報の共有を図り、担当ケアマネジャーが不在時でも迅速な対応ができる体制を整えた。また、困難ケースへの対応も積極的に受け入れ、地域包括支援センターや医療機関、サービス事業所などの多職種との連携により適切な支援を行った。さらに、資格の継続研修のほか、医療的知識の向上を深めるための研修とケアカフェの参加により、医療側とのよりよい連携の取り方を学び、実践に繋げることができた。

2 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

介護保険法に基づき、介護支援専門員の適正な人員配置を行い、関係事業所・機関と連携・協力し、利用者が可能な限り自立した日常生活ができるよう、継続的かつ志木市の実情に即したケアマネジメントを実施した。

① 職員体制

平成31年3月末	
常勤職員 4人	短時間勤務職員 1人

② ケアプラン数

平成31年3月末	
介護計画	延べ1,774件
介護予防計画	延べ461件

③ サービス担当者会議 289回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービス	47回
現在のサービス見直し	134回
初回サービス担当者会議（新規利用者）	78回
退院後の在宅復帰	12回
区分変更後のサービス調整	18回

④ 介護予防サービス担当者会議 34回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービス	19回
初回サービス担当者会議（新規）	6回
現在のサービス見直し（変更・追加）	8回
その他	1回

⑤ 相談件数 96件（うちケアプラン作成件数80件）

(2) 認定調査

要介護・要支援認定申請者に対し、83件の認定調査を行った。

(3) 会議・研修

介護支援専門員として必要な専門知識、援助技術の習得を図るため、外部研修への参加したほか、法人の特長を生かしたケース検討、実務研修などを実施した。

- ① 外部研修（更新研修、認定調査研修等） 22件 延べ27人参加
- ② 志木市介護支援専門員連絡会 1回 延べ2人参加
- ③ 志木市要支援高齢者支援ネットワーク会議 1回 2人参加
- ④ 志木市地域ケアエリア会議 3回 延べ3人参加
- ⑤ 自立支援型地域ケア会議 1回 延べ1人参加
- ⑥ ケアマネジャー会議 全12回 延べ71人出席
- ⑦ 志木ケアマネスクエア 全6回 延べ10人参加
- ⑧ 医療介護連携に伴う勉強会 全12回 延べ18人参加

サービス区分	11 訪問介護事業に要する経費
--------	-----------------

【事業の概要】

介護保険制度における訪問介護事業、第1号訪問事業、障害者総合支援制度における居宅サービス事業・移動支援事業、子育て支援のための育児サポート事業、介護保険制度外の自費契約事業を実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	75,506,595	職員人件費
事業費支出	5,568	講師謝礼
事務費支出	16,797,340	事務管理費
支出合計	92,309,503	

1 重点施策への取り組み

「業務はベテラン、ハートは初心」の目標のもと、基本業務を再確認しながら丁寧なサービス提供に心がけた。特に始業時の申し送りや変更届の活用などで連絡・調整のミス防止に努めた。また、地区会議も定期的を開催し、登録ヘルパーとのコミュニケーションや情報共有とともに、高齢者あんしん相談センター主催の地域エリア会議にも積極的に出席し、他職種と連携をしながら支援を行った。

2 主要な施策の成果

(1) 職員体制

次の職員体制で各種制度におけるホームヘルプサービスを提供した。

	平成31年3月末
常勤職員	4人
短時間勤務職員	3人
登録ヘルパー	41人

(2) 活動時間、利用者数

各種制度におけるホームヘルプサービスを次のとおり実施した。

区 分	活動時間	訪問回数	延べ利用者数
訪問介護	11,889時間	12,830回	1,102人
第1号訪問事業	3,015時間	3,501回	632人
居宅サービス事業	5,993時間	5,184回	543人
移動支援事業	1,458時間	2,015回	206人
育児サポート事業	0時間	0回	0人
自費契約	4時間	3回	3人
合 計	22,359時間	23,533回	2,486人

(3) 研修・会議

- ① 登録ヘルパー全体研修 年5回 延べ208人出席
- ② ヘルパー地区会議 4地区、各5回 延べ209人出席
- ③ 新任研修（1年未満の新任対象）2回 4人出席
- ④ 外部研修 22回 延べ42人参加
- ⑤ サービス提供責任者会議 12回 延べ80人出席
- ⑥ ケース検討会 20回 延べ76人出席
- ⑦ 地域エリア会議 8回 延べ9人出席

(4) サービス担当者会議 132回

身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	11回
要介護認定更新に伴うサービス内容の確認について	41回
生活状況及びサービス内容の確認について	24回
新規訪問でのサービス提供内容について	50回
退院後の在宅復帰に向けて	6回

(5) 講師派遣

日程	内容	講師
8月22日	車イス介護について講義	2人

サービス区分	12 志木市福祉センターに要する経費
--------	--------------------

【事業の概要】

高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に過ごせるよう、施設の維持管理に努めるとともに高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種教室や介護予防事業を実施した。また、志木市老人クラブ連合会の事務局として、志木市老人クラブ連合会及び各単位老人クラブに関する諸活動の支援を行った。(指定管理者)

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	10,304,024	職員人件費
事業費支出	2,173,597	自主事業
事務費支出	8,803,279	事務管理費
支出合計	21,280,900	

1 重点施策への取り組み

地域において健康で自立した生活が続けられるよう、各種介護予防事業を実施した。特に、志木市総合福祉センターへの移転に伴い浴室施設がなくなったことから、カッピー体操やスマイル体操などのほか、歌声サロンや懐メロ合唱会などの事業強化に努めた。

2 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 326日

市内利用者	市外利用者	合計
49,362人	393人	49,755人

(2) 教室事業

年間を通じた定期講座として、高齢者の健康増進、教養の向上などを進めた。

教室・事業名	回数	参加人数
健康レクリエーションダンス教室	11回	246人
健康体操教室	11回	220人
3B体操教室	10回	155人
大人のぬり絵教室	22回	219人
民謡教室	11回	195人
エンジョイ筋トレ教室	11回	94人
書道教室	11回	285人
太極拳教室	11回	212人
フォークダンス教室	11回	233人
9教室	109回	1,859人

(3) 志木彩愛クラブまつり

作品展示、芸能発表などを通じた交流や相互協力のきっかけの場として開催した。

実施日	9 / 17 ~ 18 2日間		
参加	芸能	延べ216人	
	展示	159点	
来場者	1階 ホール	508人	
	2階 展示場	455人	

(4) 介護予防事業

介護予防体操、認知症予防のため運動、脳トレなど、さまざまな講座を実施した。

事業名	回数	参加人数
朝の5分間体操	毎日	—
お気軽ころばん塾	週3回	3,013人
楽々筋トレ塾	毎日	2,236人
脳力アップイキイキライフ	10回	202人
認知症予防ゲーム	10回	111人
音楽療法	3回	45人
元気ダンス	3回	34人
カッピー体操	週1回	1,935人
声から始める健康生活	月1回	356人
歌声サロン	週1回	807人
スマイル体操	週1回	1,678人
懐メロ合唱会	週1回	332人
輪投げ・マグダーツ (1月~)	週2回	331人
13事業		11,080人

(5) 多世代交流事業

志木市総合福祉センター内に移転したことから、複合施設である機能を生かし、他事業所との共催（協力）事業による多世代交流事業を実施した。

こどもランチルーム、七夕週間、認知症サポート講座、大正琴発表会など

(6) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する事務を実施し、日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録等の諸活動の支援を行った。

(7) 防火管理

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき総合福祉センター内の各施設と連携し館内のすべての機関が参加する消防訓練に、年2回参加した。

(8) 研修

外部研修 3件 3人参加

サービス区分	13 志木市第二福祉センターに要する経費
--------	----------------------

【事業の概要】

高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に過ごせるよう、施設の維持管理に努めるとともに高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種教室や介護予防事業を実施した。また、隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者の定期的な安否確認を行った。(指定管理者)

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	10,353,197	職員人件費
事業費支出	1,615,574	自主事業
事務費支出	20,846,969	事務管理費
支出合計	32,815,740	

1 重点施策への取り組み

福祉センターの移転に伴い、入浴施設が志木市第二福祉センターのみとなったことから、利用者の増加に対して安全で快適な施設設備の提供ができるよう心がけた。特に、入浴施設については、衛生管理を重視して利用状況を把握し、安全確保を図った。

さらに、高齢者の日常生活の向上や健康増進、介護予防を推進するため、各種教室事業、介護予防事業などを実施した。

2 主要な施策の状況

(1) 利用状況 開館日数 356日

市内利用者	市外利用者	合計
49,330人	299人	49,629人

(2) 教室事業

高齢者の健康増進、教養の向上のため、各種教室を実施した。

教室・事業名	回数	参加人数
健康体操教室	11回	256人
リズム体操教室	11回	259人
太極拳教室	10回	196人
3B体操教室	11回	149人
書道教室	11回	207人
水墨画教室	11回	155人
認知症予防ゲーム教室	11回	209人
エンジョイ筋トレ教室	11回	144人
大人のぬり絵教室	11回	157人

スポーツカラオケ	11回	191人
9教室	109回	1,923人

(3) 介護予防事業

運動を中心とした健康体操や認知症予防などの講座を実施した。

事業名	回数	参加人数
お気楽ころばん塾	週3回	3,047人
楽々筋トレ塾	毎日	2,049人
朝の5分間体操	毎日	—
音楽療法「みんなで歌っていっぱい健康」	4回	85人
歌声ひろば	12回	562人
カーレット練習会	毎週日曜	736人
リフレッシュ体操	4回	116人
楽しく健康づくり「元気ダンス」	4回	41人
カッピー体操	毎週金曜	1,396人
9事業		8,032人

(4) イベント事業

利用者のお楽しみ会として、企画・実施した。

事業名	主な内容	回数	参加者数
サークル発表会	登録サークルの活動発表会	1回	150人
パフォーマンス楽団・結	大道芸と歌のパフォーマンス	1回	43人
カーレット大会	練習会の成果として月1回実施	12回	258人
3事業		14回	451人

(5) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者に対し、定期的な安否確認を実施した。

(6) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年2回実施した。

(7) 研修

外部研修 1件 1人参加

サービス区分	14 多機能型事業所（生活介護）に要する経費
--------	------------------------

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に障がい福祉サービスを実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	26,966,401	職員人件費
事業費支出	363,987	自主事業
事務費支出	2,729,839	建物管理費
就労支援支出	452,357	通所者工賃、材料費
事業税支出	40,000	作業収入に関わる消費税
事業活動支出計	30,552,584	
就労B型へ繰出	1,361,323	
支出合計	31,913,907	

1 重点施策への取り組み

工賃向上のための新たな取り組みとして、ひまわり（就労B）で使用する割り箸のセット作業やひまわり（就労B）クッキーの箱詰め・包装作業を行った。割り箸のセット作業は、袋へのスタンプ押しや箸の袋入れ作業を行い、作業内容もわかり易く、ほぼ全員の利用者が取り組める作業となった。クッキーの箱詰めなどは、大量注文があった際に臨時的に取り組んだ。日頃の作業に比べ、比較的難度の高い作業となったが、その分利用者の達成感を高めることができた。

また、社協だよりや近隣地域の口コミにより、アルミ缶の提供量が一定量確保され、利用者の缶つぶし作業を定期的に行うことができ、安定した工賃の収入源となったほか、市内イベントにも積極的に参加し、自主製品に加え就労B製作の商品（缶バッチ、クッキー）もあわせて販売することにより、客層が広がり、販売を通して市民へ事業所や製品のPRができ、売り上げ増につなげることができた。

2 主要な施策の成果

(1) 新規契約者数

- ① 新規契約 2人（50代女性、10代男性）
- ② 就労継続支援B型から移行 1人（40代男性）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 16.3人／日

	利用登録者数	利用状況
つくしんぼ	23人	延べ3,990人

(3) 平均工賃（一人あたり）

平均月額工賃	活動内容
1, 531円	自主製品販売、農作物の栽培と販売、アルミ缶回収、内職作業（ひまわりの割り箸セット、クッキー箱組立）

(4) つくしんぼの活動

① 販売活動

販売方法	回数
イベント参加（いろは市、健康まつり、市民まつり、総合福祉センターまつり、さくらフェスタなど）	7回
市役所内販売	12回

② 健診と余暇活動など

	活動内容	回数
健診	内科検診	12回
	歯科検診	2回
余暇活動など	大正琴	23回
	音楽療法	6回
	市内他団体との食事会	3回
	外出行事	3回
	スポーツ・レクリエーション	6回
	絵画教室	12回
	リハビリ体操	44回

(5) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	人数	受入日数
通所希望者	1人	4日
所沢おおぞら特別支援学校	2人	17日
富士見特別支援学校	1人	5日
特別支援学校塙保己一学園	1人	3日
志木中学校(3Days)普通学級	1人	3日
宗岡中学校(3Days)特別支援学級	1人	3日

② 見学受け入れ

2月8日	志木市民生委員・児童委員協議会 障がい福祉部会	18人
------	-------------------------	-----

③ 避難訓練

2回 延べ27人

④ 会議・研修

ア. 外部研修 9件 延べ12人参加
 イ. 内部研修 4回 延べ16人参加
 ウ. 職員間会議 延べ17回

サービス区分	15 多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費
--------	----------------------------

【事業の概要】

障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に障がい福祉サービスを実施した。

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	34,476,907	職員人件費
事業費支出	1,324,358	自主事業
事務費支出	6,643,232	建物管理費
就労支援支出	14,350,053	通所者工賃、材料費
事業税支出	1,239,466	作業収入に関わる消費税
支出合計	58,034,016	

1 重点施策への取り組み

就労継続支援B型として、就労に対する基本的な姿勢などの指導をする中、利用者のうち1人を一般就労（パート・障害者雇用枠）へ繋げることができた。

また、クローバーでは、内職作業を中心に行ってきた上で培った利用者の作業能力を活かし、新たに缶バッチ製造を始め、工賃アップと安定した仕事の提供が可能となった。

さらに、ひまわりでは、クッキー製造が町内会をはじめとした市内団体や地域の子育て団体などからの注文があったことから、増収に繋げることができた。

2 主要な施策の成果

(1) 新規契約・契約終了者数

- ① 新規契約 1人（40代男性）
- ② 契約終了 一般企業へ就労1人（40代女性）
- ③ 生活介護へ移行 1人（40代男性）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 17.5人/日

	利用登録者数	利用状況
クローバー	17人	3,458人
ひまわり	13人	874人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	平均工賃	クローバー	ひまわり
月額	22,259円	17,562円	30,508円

(4) クローバーの活動

① 就労支援活動

	就労場所	活動内容	活動者数(延べ)
施設外	公園清掃	清掃及び除草	186人
	大村商事	分別業務	570人
	志木フラワー	園芸補助作業	8人
	食堂実習	皿洗いなど	102人
施設内作業		御香炉灰など	3,356人
		缶バッチ製造	94人

② 余暇活動 3回(りっくんランド、和光樹林公園、サイボクナム)

(5) ひまわりの活動

① 就労支援活動

主な活動内容	活動日数	利用者数	売り上げ(円)
食堂運営(5月～)	225日	13,835人	6,135,700
販売活動	88日	—	335,220
おやつ提供	262日	延べ53,623人	5,450,133
別掲 クッキー	—	—	439,800

② 地域福祉関連事業への参加

参加内容	参加事業名	参加人数
事業協力	こどもランチルーム(22日間)	153食提供
販売活動	ノルディック・ポールウォーキング全国大会	4人
	市民まつり	4人

(6) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	クローバー		ひまわり	
	人数	受入日数	人数	受入日数
通所希望者	4人	10日	2人	2日
所沢おおぞら特別支援学校	2人	4日	—	—
志木中学校(3Days)特別支援学級	1人	3日	—	—
宗岡第二中学校(3Days)特別支援学級	1人	3日	—	—

② 見学受け入れ

2月8日	志木市民生委員・児童委員協議会 障がい福祉部会	18人
------	-------------------------	-----

③ 避難訓練

回数	クローバー	ひまわり
2回	延べ24人	延べ3人

④ 会議・研修

分類	クローバー		ひまわり	
外部研修	5件	延べ5人参加	6件	延べ13人参加
内部研修	2回	延べ7人参加	2回	延べ6人参加
職員間会議	延べ17回	—	延べ17回	—
施設見学	1回	延べ2人参加	—	—

サービス区分	16 地域包括支援センターに要する経費
--------	---------------------

【事業の概要】

柏町及び館・幸町地区において、「地域包括ケア」（高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるようにすること）を推進する中核機関として、志木市からの委託を受けて活動展開した。

【決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	66,223,047	職員人件費
事業費支出	4,449,860	市委託事業、自主事業
事務費支出	11,348,700	事務管理費
支出合計	82,021,607	

【志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜】

1 重点施策への取り組み

前年度に引き続き包括的支援事業を受託し、地域包括ケアシステムの構築、ネットワークの構築に取り組んだ。特に生活支援体制整備事業においては、住民主体の通いの場を志木市・富士見市の市境の住民同士が集える場を立ち上げることができた。また、権利擁護や個別支援についても、多職種連携による地域ケアエリア会議の開催や、関係機関との連携を行い、なんでも相談会などを通じて普及啓発も行った。

2 主要な施策の成果

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6,620件（実人数 539人）

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
4,136件	776件	1,640件	68件	6,620件

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	93件
ハイリスク者実態把握	調査未返信者に対する再調査	342件

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	32回
活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加など	15回
出前講座	前期高齢者向け講座、認知症サポーター養成講座など	5回
出張相談	なんでも相談会	3回

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数・実人数
権利擁護・成年後見人制度関連	51件・12人
虐待関連	22件・6人

② 啓発講座

講座内容	回数・参加者数
交通安全、消費生活アドバイス	10回・279人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数(件数)
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1,941件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	20回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	21回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議等への参加	12回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援など	58回
地域活動活性化	友引会	8回
一般介護予防事業	訪問型・通所型サービス等の調整	32件

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		件数(回数)
給付管理	介護予防支援 延べ847件 介護予防ケアマネジメント 延べ435件	延べ1,282件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		115回
要介護認定申請書などの申請を代行		141件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数	参加者数
自立支援教室	体操&脳トレ	22回	531人

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数	参加者数
認知症カフェ	1か所の茶話会・講演会	12回	462人
サポーター養成講座	小学生へ認知症の理解	1回	102人
声かけ模擬訓練	サポーターフォローアップ・声かけ訓練	2回	67人

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 17件 延べ26人参加
- ② その他関係会議 59回

【志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町】

1 重点施策への取り組み

アウトリーチ型のなんでも相談会や館地区での出張相談所を開設し、初期段階での相談対応と専門的・継続的な相談支援を行った。また、地域ケアエリア会議の機能強化を図り、困難事例の検討と地域課題の発見に努め、個人支援ネットワークと地域支援ネットワークを作る取り組みをした。認知症総合支援・生活支援体制整備事業では、地域の支え合いや見守りを意識し、認知症声かけ模擬訓練や地域をつなぐ住民フォーラムを開催した。

2 主要な施策の成果

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6, 420件 (実人数 575人)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
3, 842件	464件	1, 969件	145件	6, 420件

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数(人数)
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	85件
ハイリスク者実態把握	調査未返信者に対する再調査	59件

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	40回
活動支援	老人会、サロン、ボランティア活動の支援・協力	70回
出前講座	サロン、町内会の講座など	20回
出張相談	館出張相談所、なんでも相談会	17回

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数・実人数
権利擁護・成年後見人制度関連	28件・14人
虐待関連	19件・7人

② 啓発講座

講座内容	回数・参加者数
法律、消費生活、交通安全アドバイス	10回・178人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数(件数)
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1, 527件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	21回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	27回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議への参加、受診支援	72回

生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援、フォーラムなど	16回
多世代交流	保育園とサロンとの交流、保育園の見学・交流	3回
一般介護予防事業	百歳体操立ち上げ・活動支援、体操会	18回
地域活動活性化	手しごと教室	11回

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		件数(回数)
給付管理	介護予防支援 延べ931件 介護予防ケアマネジメント 延べ710件	延べ1,641件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		127回
要介護認定申請書などの申請を代行		190件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数	参加者数
自立支援教室	脳活性化ゲーム&笑ふヨガ	16回	149人

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数	参加者数
認知症カフェ	1か所の茶話会・講演会	4回	48人
サポーター養成講座	小学校など4か所へ認知症の理解講座	4回	210人
声かけ模擬訓練	フォローアップ講座、声かけ模擬訓練	2回	59人

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 27件 延べ27人参加
- ② その他関係会議 55回

サービス区分	17 志木市総合福祉センターに要する経費
--------	----------------------

【事業の概要】

リニューアルオープンに伴い、利用者へ施設利用について情報提供、周知を図り、利用再開を円滑にすすめた。また、利用者が安全快適に利用できるように総合福祉センター及び宗岡第二公民館の施設管理を行い、良質な施設・設備を提供した。(指定管理者)

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	19,766,513	職員人件費
事業費支出	789,641	自主事業
事務費支出	28,631,445	事務管理費
支出合計	49,187,599	

1 重点施策への取り組み

福祉センターの移転に伴い、子どもから障がい者、高齢者にいたる総合的、複合的な福祉施設となったため、複合施設の利点を活かした共催事業を実施した。また、館内事業所の利用状況を把握し、窓口でのワンストップサービスの拡充をすすめ、利用者の利便性の向上を図った。

2 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 開館日数326日(5月1日からリニューアルオープン)

施設名	利用回数(回)	利用人数(人)	利用率(%)
ホール	476	25,229	52.1
201会議室	328	7,075	34.7
202会議室	322	7,710	34.1
203会議室	543	14,137	56.4
合計	1,669	54,151	44.3

(2) 事業実施状況

① 総合福祉センターまつり

開催日	3月2日、3日
来場者数	2,676人
参加団体	59団体、14事業所
福祉サービス利用	移送サービス11人、ガイドヘルプ3人、館内介助1人

② 復興支援すまいるバザー

開催日	12月8日
来場者数	358人
寄附金額	103,480円を北海道胆振東部地震義援金へ

- ③ 普通救命講習会(宗岡第二公民館共催)
1回 21人
- ④ えいが会(宗岡第二公民館・児童センター・宗岡子育て支援センター共催)
2回 266人
- ⑤ ミニサマーコンサート(児童センター・宗岡子育て支援センター共催)
1回 335人
- ⑥ 地域福祉教育事業(地域福祉担当・宗岡第二公民館共催)
2回 166人

(3) 防火管理・安全対策・職員研修

火災、地震、水害、事件・事故等の危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを作成し職員及び関係者へ周知した。

また、利用者サービスの充実に必要な研修・講習会に参加した。

- ① 総合訓練
年2回実施
- ② 研修・講習会
3件 延べ12人参加

(4) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体などに、印刷機及びコピーサービスを実施した。

コピー	モノクロ：4,996枚
	カラー：432枚
印刷機	127件

(5) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。

- ① 実施方法
施設利用後に提出いただく利用カードにアンケート項目を入れ集計し、いただいた意見については改善に努めるとともに内容をまとめ、結果を掲示した。
- ② 集計数 449件

サービス区分	18 宗岡第二公民館に要する経費
--------	------------------

【事業の概要】

住民の教養の向上、健康を増進し、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、関係機関や団体と連携し各種事業を実施するとともに、利用者の誰もが安心して利用できるように施設の運営を行った。(指定管理者)

【支出決算額】

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	14,781,065	職員人件費
事業費支出	3,591,450	公民館事業、図書室事業
事務費支出	10,346,615	建物管理費 (専有面積)
支出合計	28,719,130	

1 重点施策への取り組み

リニューアルに伴い事務所が1階に統合されたことにより、窓口でのワンストップサービスの拡充をすすめ、利用者の利便性の向上を図った。

また、福祉センターの移転に伴い、子どもから障がい者、高齢者に至る総合的、複合的な施設となったため、複合施設の利点を活かした共催事業を多数実施した。各講座では部屋の内装も変わり、明るい室内で活気に満ちた受講生の姿が見受けられた。

貸出部屋は、13室から10室に減少したが、各室を可能な限り多目的に使用できるよう工夫し施設整備を充実させた。

2 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 開館日数 326日 (5月1日からリニューアルオープン)

全10室 3,107回 46,306人利用

施設名	利用回数 (回)	利用人数 (人)	施設名	利用回数 (回)	利用人数 (人)
401会議室	344	6,557	406会議室	334	4,682
402会議室	276	6,207	和室	191	1,665
403会議室	266	3,077	調理室	183	2,219
404会議室	366	3,616	トレーニング室	533	10,270
405会議室	263	5,442	美術工芸室	351	2,571

(2) 事業実施状況

① 自主事業 30事業 237回 9,674人参加

分類	事業名	回数 (回)	参加者数 (人)
高齢者事業	寿大学	18	526
一般成人事業	生活講座	2	33
家庭教育	よみきかせ、えいが会、移動図	124	4,830

・子育て支援・図書室関連事業	書室、親子料理、宿題教室など 13事業		
学校連携事業	人権講座など3事業	4	255
サークル支援事業	陶芸窯利用講習会	1	18
地域福祉事業	おとこの木あそび、写真教室、 パステルアートなど6事業	37	431
地域連携事業	羽根倉子ども会料理教室、小中 学生の勉強会	49	547
合同事業	復興支援すまいるバザー、総合 福祉センターまつり	2	3,034

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ25回（素焼き12回、本焼き13回）

③ 図書室運営 開館日数 334日

総合福祉センター施設内部大規模改修工事のため、4月までは、総合福祉センター東館1階臨時窓口にて予約した本の貸出・返却・予約受付等図書サービスを行った。

5月からのリニューアルオープンでは、図書室が児童センター等と同フロアになったことから子ども、子育てに特化した図書室として資料・環境の整備を行った。また、1階ロビーに新たに雑誌・新聞の閲覧スペース設け、1階窓口でも貸出・返却手続きを開始し、サービスの向上を図った。

ア. 利用者数(人)

児童	青少年	一般	団体	合計
2,028	180	7,734	401	10,343

イ. 貸出資料数(点)・リクエスト受付件数(件)

	児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
貸出資料数	17,946	12,237	1,919	3,212	35,314
リクエスト受付件数	719	2,369	598	198	3,884

④ ボランティア協力

読み聞かせボランティア（えほんであそぼ） 101回 延べ216人協力

宗岡第二公民館サポーター（ニコサポ） 延べ88人協力

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に年2回参加した。

また、利用者サービスの充実に必要な研修・講習会に5件、延べ15人参加した。

(4) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。

施設利用後に提出いただく利用カードにアンケート項目を入れ集計し、いただいた意見については改善に努めるとともに内容をまとめ、結果を掲示した